

高瀬神社社報

# 越中一宮



第28号

平成23年1月1日

越中 高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影 南部写真館 南部 榮氏

新年明けましておめでとうございます。

平成二十三年の年頭にあたり、まず以て謹んで皇室の弥栄と氏子・崇敬者各位のご繁栄をお祈り申し上げます。

「光陰矢の如し」と言いますが一年三百六十五日、本当に早く過ぎて行きます。皆さんはこの年頭にあたり何を願い、何を祈りされたのでしょうか。

昨今の参拝事情は個人的なお願い事が中心で、例えば国家隆昌など社会全体のことを願われる方が少なくなってきたと思います。もちろん、神社が行う毎月のお祭りでは地域の安全はもとより、わが国の平和と世界各国が手を取り合い、国民一人ひとりが健康で安全な暮らしが出来るようお願いしています。しかしながら現実とは異なり、毎年様々な事件や事故が起り、平穏な生活が保たれなくなってきたので神様に不満を言いたくなる方もおられるかもしれません。

昨夏は暑さで苦しみ、秋は全国的に熊が出没し、その対策に苦慮しま



### 「年頭の所感」

宮司 藤井秀弘

政治や経済もゴタゴタして落ち着かない一年だったように思います。我が家の畑にも熊が出没し騒ぎとなりました。幸い被害は渋柿を食われた程度で済みましたが、罫を仕掛けて様子を見ましたが結局、捕獲できませんでした。自宅の隣にある神社へ朝拝夕拝に行く際など日々不安のなかで生活していましたが、頻繁に出没した地域の方々はもっと大変だったと思います。テレビなどの報道では、動物愛護団体は殺処分するなど言い、行政も捕獲して山へ放すと言っていました。実生活の上で生命の危機を感じながら日々過ごすことは精神的にも肉体的にも相当の負担でしょう。熊の凶暴さはご存知の通りです。熊の出ない地域の人には他人事でしょうが、当事者は大変なのです。そのあたりの実情をよく考えて発言してほしいものです。

自分が幸せな生活をするためには自己中心的な利益の追求が行われま

一つになって手を取り合うことで大勢の人が幸せな生活を送れるように努力しなければなりません。先ほどの熊出沒対策にしても、そこに住んでいない人が、熊の餌となる柿の木や栗の木を切り倒さないという一方的な方法を提示するだけでは真の解決にならないのです。熊が里に下りてくる理由があるわけですから根本的な解決方法によらねばなりません。問題を解決するということは簡単なことではありませんが、できることならば、多方面から検討を重ねて対処すべきではないでしょうか。

さて、今年(辛卯)は辛卯(かのとう)の年。御祭神 大國主命の教えにより、大怪我の傷を癒やしてもらった「因幡の白うさぎ」の神話が有名ですが、童話などに登場するうさぎのほとんどは頭が良く活発で愛嬌のある人気者です。時として悪さをはたらき、失敗もしますが素直に反省するところも憎めません。また、うさぎは繁殖力が旺盛で生れて半年ほどで大人になり、年に三〜四回出産するそうです。子孫繁栄は社会を発展させる上で最も大事なことです。今年はこの卯歳の生命力にあやかっ、世のため人の為に尽くすという志のもと、元気な日本の復活を目指して活動したいと思えます。何事にも目標を持ち、その実現のためには努力を惜しまず、失敗を恐れないで、もし失敗してもへこたれずに再挑戦して最終的に栄冠を勝ち取りたいものです。大神様の更なる御加護をいただき、うさぎのようにビヨンビヨンと元気に飛び跳ねて、飛躍の一年になるようお互いに頑張りましょう。

## 謹賀新年

平成二十三(辛卯)年  
皇紀二六七一年

宮司 藤井秀弘

権宮司 藤井秀嗣

禰宜 齊藤直己

全 河合正登

権禰宜 浦 泰宏

全 長谷川宏幸

巫女 杉本絵里香

全 南部有希

全 藤井友希

事務員 黒田三津子

囃託 岩倉友子





祭事録

例祭

九月十三日午前十時、例祭が斎行され、県内神社宮司をはじめ氏子・崇敬者五十名が参列しました。

宮司祝詞奏上につづき、巫女が御神前に「浦安の舞」を奉奏し、本年もコーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」の先導により「高瀬神社奉賛歌」を参列者一同で奉唱しました。

また御本社につづき功霊殿例祭も併せて斎



行され、遺族会会員八十名とともに御英霊に感謝の誠心を捧げました。

献茶祭

十月二十四日、「高瀬神社献茶奉賛会」会員をはじめ七十名の参列により「第三十七回献茶祭」が斎行されました。

表千家流の岩城美知子先生のお点前により、御神前に濃茶・薄茶が供えられ、斎館においては表千家流橋爪孝仙社中による「薄茶席」が、また参集殿においては皇風煎茶礼式 橋爪孝雲社中による「煎茶席」が設けられ、社頭は大いに賑わいました。



新嘗祭

十一月二十三日、新嘗祭が斎行されました。



御神前には井波地域中核農業士協議会（松井俊明会長）より献穀田で収穫された「コシヒカリ」と「白酒」が供えられました。宮司祝詞奏上につづき砺波地区農業協同組合協議会から幣帛も供えられ、奉幣使の松本篤治さんと農業協同組合長により、祭文が奏上されました。



また篤農家には表彰状、献穀田奉耕者には感謝状が贈られました。

(篤農家表彰) 大橋 俊次殿(南砺市八塚) 坂田 實殿(小矢部市糞輪) (感謝状授与) 水野 敬一殿(南砺市坪野)

祭事暦

《平成二十三年》

一月 一日	歳旦祭
一月 三日	元始祭
一月 七日	昭和天皇祭
一月 二十五日	天神祭
二月 三日	節分祭
二月 十一日	紀元節祭
二月 十七日	祈年祭
三月 八日	鎮火祭
三月 二十一日	春季皇霊祭
四月 三日	神武天皇祭
四月 十日	春季祭
四月 二十九日	昭和祭
六月 十日	祈年穀祭
六月 十九日	風宮例祭
六月 三十日	夏越大祓
七月 十七日	稲荷社例祭
七月 二十二日	人形感謝祭
八月 七日	除熱祭
八月 十六日	七夕祭
九月 十三日	中禮祭
九月 十六日	例祭
九月 二十三日	秋季皇霊祭
十月 二日	村まつり
十月 十七日	神嘗奉祝祭
十月 三十日	献茶祭
十一月 三日	明治節祭
十一月 十三日	神明宮例祭
十一月 十五日	七五三祝祭
十一月 二十三日	新嘗祭
十二月 三日	天長節祭
十二月 二十三日	師走大祓
十二月 三十一日	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭  
◎毎月十三日 交通安全祈願祭

杜のにぎわい

剣道大会

九月二十一日、「第四十八回奉納剣道大会」が開催され、砺波地区の小中高校生の約二〇〇名の剣士により団体戦と個人戦の熱戦が繰り広げられました。試合に先立ち、拜殿で奉告祭が斎行され、前年度団体の部優勝校の庄川中学校の生徒、石により日本剣道形が奉納されました。尚、試合結果は次の通りです。

《団体の部》—敬称略—

▽小学生男・女

- ①井波剣道スポーツ少年団

②晴武館

▽中学生男子

- ①出町中学校
- ②庄西中学校
- ③井波中学校

▽中学生女子

- ①井波中学校
- ②庄西中学校

《個人の部》

- ①上野 龍馬(砺波)
- ②水口 脩弥(井波)
- ③清川 厚志(福野)

▽小学生男子

- 加藤 正泰(晴武館)



▽小学生女子

- ①青山 萌(井波)
- ②青山 若葉(井波)
- ③神田万里奈(砺波)

- ①岩崎 太成(出町中)
- ②篠原 風斗(井波中)
- ③余西 宏斗(庄西中)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①柴田 真美(福野高)
- ②村中ひとみ(砺波高)
- ③山田 晴子(福野高)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①岩崎 太成(出町中)
- ②篠原 風斗(井波中)
- ③余西 宏斗(庄西中)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①柴田 真美(福野高)
- ②村中ひとみ(砺波高)
- ③山田 晴子(福野高)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①岩崎 太成(出町中)
- ②篠原 風斗(井波中)
- ③余西 宏斗(庄西中)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①柴田 真美(福野高)
- ②村中ひとみ(砺波高)
- ③山田 晴子(福野高)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①岩崎 太成(出町中)
- ②篠原 風斗(井波中)
- ③余西 宏斗(庄西中)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①柴田 真美(福野高)
- ②村中ひとみ(砺波高)
- ③山田 晴子(福野高)

- ①植山 法慧(井波高)
- ②山本 涼賀(砺波高)
- ③中島 駿也(砺波工高)

- ①藤崎美奈里(井波中)
- ②野原 果鈴(井波中)
- ③杉木 里帆(井波中)



観月祭(中秋の名月)

九月二十二日午後六時四十分より、当神社で初めての「観月祭」が斎行され、高瀬の大神様や月の神様に神楽舞、雅楽を奉納しました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、参列の氏子崇敬者の皆さんは、ふるまわれた月見団子や御神酒を味わいながら、雅びなひとときを楽しみました。



迎春

株式会社ゴールドウイン

取締役相談役 西田 東作

セندان電子(株)

代表取締役会長 武田 修  
代表取締役社長 武田 武美

砺波市庄川町五ヶ四四〇  
TEL(〇七六三) 八二一五一一三〇

祝儀料理 福光屋

南砺市山見一七二〇  
TEL(〇七六三) 八二一五〇八二(アスマモ店)  
八二一〇七〇六(住出し部)

越中一宮高瀬神社指定 南部スタジオ

南砺市山下二七七  
TEL(〇七六三) 八二一〇一一三〇  
富山店 TEL(〇七六三) 八二一〇一一三〇  
南砺市五福六区一八四五一六  
TEL(〇七六三) 四三二一一八五五

宝石・記念品

あづちや

南砺市本町三十四八  
TEL(〇七六三) 八二一〇三六六



シリーズ

# 高瀬の今昔

いまむかし

⑦

## 「玉替神事の今昔」

高瀬神社では新玉の年を迎えた元日午前五時より、日本の平和と皇室の弥栄、氏子崇敬者の幸せを祈る歳旦祭が行われます。一年で最初の祭典として、氏子の皆様多数ご参列のもと齋行される歳旦祭ですが、戦前までこの歳旦祭と同時刻より「玉替神事」という特殊神事が行われておりました。

この玉替神事とは玉を付けた竹の小枝を頒ち、その玉を参拝者同士が随意に交換し、福（打出の小槌の印、福箸の印）の入った玉が福運者に授かる行事です。この神事は昭和十一年の元日（午前五時か

ら午後三時まで）に初めて行われ、福運者には神前で家業繁栄・家内安全を祈願した後、大国様の御神像や福箸が授与されました。

昭和二十年頃よりこの玉替神事は行われなくなりましたが、当社社で正月に授与する「穂宝守り」に付く福運くじは、玉替神事の名残として現在も受け継がれております。

（権欄宜 長谷川宏幸記）



現在の福運くじ付穂宝守り



昭和17年元日の大国像と穂宝守り



昭和14年元日、参詣者に授けられた木彫大国像

迎春

婚礼着付

### ノビアデサロンみたに

南砺市北川一八五二  
TEL(〇七六三) 八二一〇四三三

巻御所落雁本舗

### 河内屋菓子舗

南砺市本町一の三四  
TEL(〇七六三) 八二一〇四〇二

ブライダルサロン

### アマノ

高岡市大手町二一八(環町通り)  
TEL(〇七六六) 二四一四一一四

### (株)林クリーニング

南砺市本町三丁目一四番地  
TEL(〇七六三) 八二一〇二八九

全国にあなたの花をお届けします

花キユーピット

### ミナミフラワーショップ

アミ店 TEL(〇七六三) 二二一六三八八  
FAX(〇七六三) 二二一六三八八

# 参拜日誌抄

(平成二十二年九月～十一月・敬称略)

## 「九月」

二日

高取神明宮(愛知県)

宮司 鈴木 閑 以下八名

三日

明治神宮崇敬会

理事長 男成 洋三  
総務課長 植松 克巳

九日

愛知県商工会連合会

東三河支部女性会一〇〇名

十日

南砺市遺族会井波支部

(清掃奉仕)

南砺市遺族会福野支部

(清掃奉仕)

十一日

氏子清掃奉仕(村総出)

日枝神社

宮司 平尾 旨明

十二日

富山県神社庁

庁長 尾崎 定輝

十九日

第四十八回奉納剣道大会

(奉告祭)

二十日

立正佼成会(清掃奉仕)

## 「十月」

一日

砺波高等学校(合格祈願)

四日

ひいらぎ会(金沢市) 三十名

九日

吉田神社総代会(長野市)

十三名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

二十二日

柏木神社(滋賀県)

宮司 川島 雅臣

伴谷氏子総代会(滋賀県)

十五名

二十七日

神社庁砺波支部

(神宮大麻頒布始奉告祭)

駒形神社(岩手県)

宮司 山下 明

以下三十一名

## 「十一月」

一日

普明会教団高岡支部

九日

高瀬神社崇敬会栃木支部

五名

十一日

富士浅間神社(名古屋市)

宮司 岩田 孝根

以下十三名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

津沢中学校第十九回卒業生

二十九名

十四日

南宮大社雅楽会(岐阜県)

会長 廣瀬 祐

以下十二名

十六日

井波小学校二年生 七十四名

(町内史跡探訪)

二十八日

里芋おほぎ茶会



迎春

田島のし店

砺波市本町七一四  
TEL(〇七六三)三二二五二〇

おいしいお菓子の研究所

(株)ミツシュローゼ

代表取締役社長 杉原 徹  
TEL(〇七六三)二二三八八八

牧印刷株式会社

南砺市理休三三三一  
TEL(〇七六三)六二〇一一二  
FAX(〇七六三)六二一三八二三

(株)ジオミックス

広告事業部 P Rプランニング

小矢部市下中一三八  
TEL(〇七六三)六七一八六七

看板とイベント・宣伝の  
オーバル

砺波市庄川町金屋一三〇五  
TEL(〇七六三)八二四二二二





# 献穀田だより

## 抜穂祭



去る九月十九日、井波地域中核農業士協議会（松井俊明会長）による抜穂祭が、南砺市

坪野の水野敬一氏（本年奉耕者）の献穀田に於いて、斎行されました。

関係者が見守る中、御田植祭で植えられたコシヒカリの稲を五名の早乙女が刈り取りました。



収穫した稲は、十月十七日、伊勢の神宮へ懸税（カケチカラ）として奉献され、十一月二十三日には新嘗祭で御神前にお供えされました。

## 初穂曳奉仕

十月十五日、第三十九回初穂曳が三重県伊勢市で行われ、当社より献穀田奉耕者の水野敬一ご夫妻・中川昇氏（南砺市役所井波地域中核農業士協議会担当）・浦権禰宜の四名が参加し、献穀田で収穫した「コシヒカリ」の稲束を伊勢の神宮へ納め、神恩感謝と更なる五穀豊穰をお祈りしました。

また、前日には二見興玉神社・御鹽田神社を参拝し、神宮徴古館、神宮御園、神宮神田を見学しました。



# 心ひかれた風景

撮影

宮司 藤井秀弘



五箇山の山並

平成12年12月  
平村来栖より



妙高山と黒姫山

平成22年11月  
上信越自動車道より



ビルの朝焼け(東京)

平成21年9月  
第一ホテル東京より



木曾駒ヶ岳

平成22年11月  
早太郎温泉より



ご案内

節分祭(豆まき)

二月三日

午後三時齋行

ご家族お揃いでご参列下さい。



平成三十三年厄年

本年は次の通りです。

(男性)

二十五歳

前厄 (昭和六十三年生)

本厄 (昭和六十二年生)

後厄 (昭和六十一年生)

四十二歳

前厄 (昭和四十六年生)

本厄 (昭和四十五年生)

後厄 (昭和四十四年生)

(女性)

十九歳

前厄 (平成六年生)

本厄 (平成五年生)

後厄 (平成四年生)

三十三歳

前厄 (昭和五十五年生)

本厄 (昭和五十四年生)

後厄 (昭和五十三年生)

三十七歳

前厄 (昭和五十一年生)

本厄 (昭和五十年生)

後厄 (昭和四十九年生)

戌の日(安産祈願)

一月	七日	七月	六日
二月	十九日	八月	十八日
三月	三十一日	九月	三十日
四月	十二日	十月	二十三日
五月	二十四日	十一月	四日
六月	八日	十二月	十六日
七月	二十日	一月	二十八日
八月	三十日	二月	初日
九月	十一日	三月	十一日
十月	二十三日	四月	二十三日
十一月	四日	五月	十五日
十二月	十六日	六月	二十七日
一月	二十八日	七月	初日
二月	初日	八月	十一日
三月	十一日	九月	二十三日
四月	二十三日	十月	四日
五月	十五日	十一月	十六日
六月	二十七日	十二月	二十八日
七月	初日	一月	初日
八月	十一日	二月	十一日
九月	二十三日	三月	二十三日
十月	四日	四月	十五日
十一月	十六日	五月	二十七日
十二月	二十八日	六月	初日

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。

奉納

○「初穂米」

南砺市高瀬

岩倉

十月一日

○「初穂米」

岐阜県関市

小石 達人殿

十月十七日

○「神饌米」

南砺市

井波地域

中核農業士協議会殿

南砺市坪野

水野 敬一殿

南砺市高瀬

岩倉 和弘殿

十一月二十三日

○木彫刻額「里山回廊」



南砺市井波

川原 和夫殿

十二月十八日

○「古代米」

婦中町友坂

松田 久男殿

婦中町長沢

池田 栄蔵殿

十二月十八日

○「干支(卯)大絵馬」

南砺市山下

南部 栄殿

富山市古鍛冶町

大谷美術学園

園長 大谷 弓子殿

十二月十九日

○「国旗」

南砺市高瀬

大和彌寿夫殿

十二月二十日

編集後記

新年明けましておめでとうござい  
ます。

昨年は異常気象に見舞われ、また  
不安定の政局のなか、近隣諸国から  
国民の平和な生活が脅かされるな  
ど、不安を感じながら過ごした一年  
でした。

本年は「卯」の年を迎えるにあ  
り、御祭神「大国さま」の御加護を  
授かった「因幡の白うさぎ」のよう  
に、氏子・崇敬者の皆様には、広大  
無辺なる大神様の御加護があり、弥  
益々に飛躍の年となりますよう衷心  
よりお祈り申し上げます。

【表紙写真】

干支(卯)大絵馬と

大谷美術学園の皆さん

# ブライダルフェア 及び 相談会情報

1月

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

毎月一のつく日は **一の宮フェア**

**神前式リハーサル体験会** ①13時～ ②14時～ ③15時～



**土日相談会**  
10時～16時

**平日相談会**  
10時～16時

**プチフェア**  
10時～16時  
1/22(土)・23日 2/27日 3/12(土)・13日

**絆結フェア**  
10時～16時

2/25(金) 3/25(金)  
26(土) 26(土)



## 美 Was Fair

場所 越中一宮 高瀬神社

日時 **2/5(土)・6(日)**  
10時～17時

### フェア内容

- ◆和装体験会 (要予約)  
白無垢、色打掛  
紋付  
かつら、ヘアセット
- ◆模擬挙式 (両日14時～)  
結婚式の様子をご覧頂き  
神前の作法の説明をいたします
- ◆各種展示
- ◆相談会

縁結びぜんざいサービス



厳かな中に宿る美しさ 神前結婚式  
真の古に宿る美しさ  
未来へと繋げる誓いの心

**越中一宮 高瀬神社**

ご予約・お問い合わせ

TEL (0763) 82-0932

Eメール mkuroda@takase.or.jp

ホームページ <http://www.takase.or.jp>

